



ろりぽっぷ幼稚園 週刊園だより

幼稚園 048(794)3104

ろりぽっぷ

HPアドレス
http://wakuwaku-dokidoki.com

2022年 2月 24日 196号

※プログラム・プロセス表は
次週 お渡しします

〈添付手帳〉
・3月のランチメニュー

3月の予定

1日(火) 集金 ピーカブー ラッコクラブ	10日(木) 生活発表会 くま・きりん
3日(木) ひなまつり会食	15日(火) ランチ終了 ラッコクラブ
7日(月) 新入園見説明会	16日(水) 半日保育
8日(火) 生活発表会 さくらんぼ・もも	17日(木) 終業式 半日保育
9日(水) 生活発表会 そら・ほし	18日(金) 卒園式

3月生まれのおともだち

もも (ほし)

さくらんぼ

そら (きりん)

くま

生活発表会は綱渡り

渡瀬含みの冬季オリンピックが終わりました。羽生くんが氷上で舞った「春よ来い」が今でも目に浮かびます。すべての人々に春がやってきますようにと、やさしい思いが伝わってくる演技でした。

さて、今回は生活発表会の「好きな遊び」についてです。初めての方は不思議に思われるでしょうが、これぞろりぽっぷの神髄などと言ったら大げさになりますが、とにかくろりぽっぷらしさに溢れているのがこの演目なのです。

ろりぽっぷはご存知のように大きなホールを借り、練習を重ね、さらびやかな衣装を着て、という園ではありません。生活の中心が遊びであり、その様子をお伝えするのが生活発表会です。

クラス毎の発表も子どもたちの生活の中からピックアップして劇ごっこに仕立てたりしていますが、さらにひとりひとりにスポットライトを当てて輝ける場を、と生まれたのが「好きな遊び」でした。何よりも自分が園で生活する中で、一番楽しんでこれが好きという遊びを自分で決め、みんなに見てもらい、自分の意志を最も尊重され、活かされるのが「好きな遊び」なのです。

これまでには、園庭の木登り、ブランコでの革命とはし、舞台上での砂遊びなど、ユニークな発表がありました。直前になって「やっぱり世のものにする」と心変わりも当たり前。臨機応変が信条の保育者もキリキリ舞いさせられるのが「好きな遊び」です。

もちろん、3歳児や初めてのお子さんは好きな遊びを見てもうことを理解するのが難しかったり、待ちくたびれてくずたり、舞台にのぼることが取っつき難かったり、当日はいろいろな姿を見せると思いますが、お子さんの気持ちをおおらかに受け止め、無理をせず進めていきたいと思っております。(園長)

年長 ピザ作り 2/24(木)



○休園期間、手強いなあ (5歳児保護者)

休園期間は思いがけず息子たちとのんびり過ごす時間ができて、普段だと見過ごしている小さな成長や、見なかったことにしてしまう悪いところ(笑)を感じる事ができたように思います。この先、進学・進級でバタバタしてしまう時期でもあるので、上の子たちもいない、のんびりとした4日間(土日は上の子たちがいるので...)、私はありがたく思いました。

休園初日の午前中、私は用事があったので、1時間程主人に子どもたちをまかせたところ...「ろりぽっぷの先生って神すぎる。目を離したつりも、手を離したつりもないのに、視界から消える...」とグツリしていました(笑)

私も楽しく休園期間を過ごしてはいましたが、やはり3食食べさせ、あまり外出しないように家でやるちゃ坊主をストレスがたまらないように、運動不足にならないようにと過ごすのは、なかなか手強いなあ〜と何度か感じました。

2月の誕生会 2/24(木)



5歳児



4歳児



3歳児は2月生まれはいませんでした

○ろりぽっぷでやる気の素地 (5歳児保護者)

園だよりの「ろりぽっぷは文字を教えない」の話、IQよりもEQの大切さが前から叫ばれている今の時代でまだそういう見方もあるのかと少しおどろいていました。

子どもの「やってみよう」という内発的動機づけに勝るものってありませんよね。以前息子が「学校ごっこやったんだー」とプリントを持ち帰って見せてくれました。「みんながやりたいてって言って、残りのプリントがすぐになくなったんだよ」と聞いて、私は、これが「学習」の在るべき姿だなあと、みなさんのやる気とそれを引き出すろりぽっぷに感心しきりでした。

前に「小学校で英語が始まるから、良い成績をとれるように英会話を習わせる」と、ある親ごさんの声を耳にしたとき、一体、学習して何のための何なんだろ...と本末転倒を感じたりしていました。

ろりぽっぷでやる気の素地を育ててもらったので、この気持ちのままで...!と親としては思っています。